彼女の健康と尊厳は私達の最優先事項

目標

パプアニューギニアと東ティモールの全ての女性と少女は、暴力のない生活を送ります。

資金援助：75万米ドルを UNFPAへ

具体的な目標

パプアニューギニアと東ティモールでは、暴力を受けた女性や少女が、暴力からの長期回復を含め、質の高い必須サービスを利用している。

恩恵を受ける人達

ジェンダーに基づく暴力（GBV）とは、個人の意思に反して行われる、社会的に認められた男女間の違いに基づくあらゆる有害な行為の総称です。身体的、性的、精神的な危害や苦痛を与える行為、そのような行為の脅し、強制、その他の自由の剥奪が含まれます。これらの行為は、公の場で行われることも、 私的な場で行われることもあります。

GBVに対する認識が高まり、政府、女性団体、その他のパートナーによる広範な活動が行われているにもかかわらず、暴力を受けている多くの女性と少女は安全、健康、司法へのアクセスを支援する必要不可欠なサービスを未だに利用できていません。パプアニューギニアや東ティモールを含むアジア太平洋地域では、GBVサービス提供における被害者中心のアプローチの欠如が、重要な課題となっています。

多くの女性にとって、医療施設への訪問は、助けを求める最初の試みであり、支援やケアを受け、虐待の状況から逃れる唯一の機会かもしれません。したがって、すべての医療提供者が、臨床的介入、情緒的・心理社会的支援の提供、被害者が希望する他の特定のサービスへの紹介などを通じて、暴力の被害者を効果的に特定し治療するための十分な知識とスキルを備えていることが極めて重要です。

この第1段階の新たな取り組みに基づき、第II段階では、パプアニューギニア（PNG）と東ティモール（TL）の他の地域における医療従事者を含む、GBV対応担当者のスキル、知識、能力の強化を拡大します。第Ⅱ段階では、介入の地理的範囲を拡大し、持続可能性のために政府のシステム内で介入を制度化します。

この恩恵を受ける人はPNGで推定578,000人、TLで推定74,000人となる予定です。

プロジェクトの歴史と年表

- **2016** PNGはジェンダーに基づく暴力を防止する国家戦略を策定した。（2016-2025）。
- **2018** TLはGBVに対処するための医療従事者向けに国家がガイドラインを開発した。
- **2020** COVID-19のパンデミックが始まり、医療ケアだけは制限された中でサービスを提供し続けていた。
- 国際ゾンタはプロジェクトに100万米ドル拠出
- **2021** PNGの家族支援センターは、GBV被害者のための専門的なサービスを提供するために拡張されました。
- GBV被害者に必要な医療サービスを提供するために、TLにある優先的な医療施設内に安全な場所を設置した。

概要

- ジェンダーに基づく暴力は、経済的影響、教育成果への影響、社会や国の生産性と発展への影響とともに、女性と少女の幸福、健康、安全に対して有害かつ長期的な影響を及ぼす。
- パプアニューギニアの女性（15歳から49歳）の56%が親密なパートナーから身体的暴力を受けた経験があり、28%が生涯のうちに性的暴力を受けた経験がある。
- 結婚している、または結婚したことのあるパプアニューギニア女性の63%が、配偶者から身体的、性的、精神的な暴力を受けた経験がある。
- 東ティモールの女性（15～49歳）の3人に2人は親密なパートナーからの暴力を経験している。
- TLでは、男性も女性も4人に3人以上が、男性が妻を殴ることは正当化されると信じている。

© UNFPA

戦略

- 暴力にさらされた女性や少女のための不可欠なサービスパッケージに関する国際的ガイドラインについて、GBV対応サービス提供者の能力を開発する。
- GBV被害者にタイムリーで質の高い対応するのため、多部門間の調整と紹介に関するガイドラインの作成に技術指導を行う。
- GBVの案件管理を制度化するための技術的指導を提供する。
- GBV多部門間の対応の強化に効果的であることが証明されている現地に適応した介入に関する証拠を作成する。
- GBVサービス提供に関する国際基準を制度化するために、政府を支援する政策アドボカシーを支援する。

© UNFPA

期待される成果

パプアニューギニアと東ティモールの保健省は、保健セクターを通じて被害者中心のGBVサービスのための国際基準とガイドラインを採用し、制度化する。

国や地方政府がGBV紹介制度やGBV標準業務ガイドラインを策定し、採用する。

関連する政府当局やサービス提供者は、質の高いGBV案件管理を提供するための知識、スキル、資源を持っている。

すべてのプロジェクトの現場では、グローバルガイドラインに沿った機能的な紹介経路が確立されている。

プロジェクトで研修を受けた医療従事者の70%以上が、GBV対応における被害者中心の原則に関する知識を80%高めた。

ジェンダーに基づく規範、構造、慣行は、GBVを支えるとともに、予防と対応の介入策の効果的な実施に対する実質的な障壁を生み出しています。

UNFPA

ZONTA INTERNATIONAL
EMPOWERING WOMEN THROUGH SERVICE & ADVOCACY